

ヒナスミレ

Viola tokubuchiana Makino var. *takedana* (Makino) F. Maek.

スミレ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内の生育地・個体数ともに少ない。

分 布

国内分布は北海道～九州に分布。県内分布は、大野市、あわら市、越前市、敦賀市。

種の特徴

山地の林内に生える。短い地下茎がある。葉は三角状長楕円形、長さ3～6cm、上半部は細まり、先は尖る。基部は深い心形、葉縁に波状の鋸歯があり、花は淡紅色。花弁の長さは1.2～1.5cm、距の長さは6～7mm。

生育を脅かす要因

山地林道の改変、植生の遷移等。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、畔上能力ほか（2013）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○						○	○			○	

ダイセンオトギリ

Hypericum asahinae Makino

オトギリソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも少ない。1山域に確認されるのみである。

分 布

本州（中部地方以西の日本海側の高山）に分布する。県内では奥越地方で確認される。

種の特徴

乾燥した尾根筋の露岩地に生える多年生草本。地下茎は木質。葉は卵状楕円形、楕円形または長楕円形で、長さ20～35mmで対生する。葉は十字対生状にやや密に着く特徴がある。枝先に集散花序を作り、直径約2cmの黄色い花をつける。花弁は5枚、黒点、黒線がある。

生育を脅かす要因

産地局限、温暖化が生育を脅かす要因となる。

参考文献 北村四郎ほか（1961）、佐竹義輔（1982b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

ヒメオトギリ

Hypericum japonicum Thunb.

オトギリソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

今回調査では生育状況が不明であったので、引き続き県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

分 布

国内では本州（関東以西）～九州に分布。

種の特徴

水田等の開けた湿地に生える小型の一年草。

生育を脅かす要因

近年、除草剤の使用等水田環境が変化したことや植生遷移が進行した耕作放棄水田が増えたことが個体数減少要因に挙げられる。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○	○	○	○	○		○		○	○		○	○	○